



# 第11回 科学教育の国際化を考えるシンポジウム

## ～ 新グローバル時代に向かう科学教育を考える ～

グローバル時代と叫ばれて久しく時が経ちますが、時代は新たな局面を迎えています。いくつもの国が自国第一主義を掲げ、かつてのグローバル化とは逆行する動きが見られます。しかしながら、グローバル化の流れを取り戻さなければ世界は貧富の2局化が進み、持続可能な社会は生まれないと考えられます。資源も少なく、人口減、高齢化社会へ向かっている我が国において世界のグローバル化は重要な課題です。世界に誇れる科学技術を持ち、科学教育においても大きなアドバンテージを持つ我が国においては、グローバル化を考える際に、科学教育の国際化が重要であることは言うまでもありません。スーパーサイエンスハイスクール事業の成果として、日本の科学教育は国際化に向けて大きく進展したと言えます。国際舞台での発表やコンテストでの受賞等、日本の高校生の活躍が徐々に広がりを見せています。しかしながら、優秀な海外生徒の中で、日本の高校生がリーダーとなれているかと問われると、まだまだ課題が残ります。理数の力が高くても、異文化間でのパフォーマンスを発揮できない状況は否定できません。立命館高校では、それを打開するために「国際共同課題研究」が重要な鍵であると考えています。異なる考え方を幅広く捉える力をつけ、英語で議論し、グループ内での調整力を鍛える。リーダーシップ発揮のためには、高校時代にこのような経験を持つことが重要だと考えます。議論する力をどうやって鍛えるのか、また、それらを国際舞台で発揮させるためにはどのようなトレーニングが必要なのか。日本の教育が問われている重要な課題を皆さまとともに考えられればと思います。

お忙しい中とは存じますが、多くの皆さまのご参加をお願い申し上げます。

日時	2020年2月7日(金) 10時00分～16時30分 (9時30分受付開始)			
場所	立命館中学校・高等学校 (長岡京キャンパス) 〒617-8577 京都府長岡京市調子1丁目1-1 TEL 075-323-7111			
	<p> <small>※ 校内には駐車場がございません。自家用車でのご来校はご遠慮ください。  <small>※ 本校は2足制となっております。上履きのご準備をいただければと思います。</small> </small> </p>			
対象	教育関係者、および、教職を目指す学生			
スケジュール	9:30-	受付		
	10:00-10:40	講演Ⅰ「討論を大切に科学教育」 学校法人立命館常務理事、立命館大学工学部教授 建山 和由		
	10:50-11:40	公開授業「討論を大切に授業 ～教科横断授業の試み～」		
		<table border="1"> <tr> <td>●数学・理科 (化学) 「空間図形と結晶構造」 高校2年SSコース</td> <td>●英語・理科 (生物) 「遺伝子組み換え食品」 高校2年SSコース (SSGクラス)</td> </tr> </table>	●数学・理科 (化学) 「空間図形と結晶構造」 高校2年SSコース	●英語・理科 (生物) 「遺伝子組み換え食品」 高校2年SSコース (SSGクラス)
	●数学・理科 (化学) 「空間図形と結晶構造」 高校2年SSコース	●英語・理科 (生物) 「遺伝子組み換え食品」 高校2年SSコース (SSGクラス)		
	11:50-12:15	授業検討会		
	12:15-12:40	英語による課題研究ポスターセッション (SSGクラス高校3年生)		
	12:50-13:40	昼食 ※申込フォームにて弁当の注文を受け付けています。生徒の昼休みと重なり、食堂のご利用は困難です。弁当を注文いただくか、昼食をご持参ください。		
13:40-14:10	講演Ⅱ「討論する力を育む：多文化間共修論の視点から」 立命館小学校・中学校・高等学校代表校長、立命館大学教授 堀江 未来			
14:20-15:20	パネルディスカッション 「国際共同課題研究で目指すもの」 ※ 立命館高等学校における本年度科学技術人材育成重点枠事業の総括を兼ねて			
15:30-16:20	全体協議			
16:20-16:30	閉会			
参加申込	本校HPから参加申込をしていただけます。			

※ お問い合わせにつきましては電話、または、e-mailにて下記までお願いします。

立命館高等学校 武田菜々子 (SSH推進機構長)、田中麻由 (事務室)

電話：075-323-7111、e-mail：nanakot@fkc.ritsume.ac.jp